

オンライン語学教育の総点検

～ツールの選び方・使い方からハイフレックスまで～

パンデミックが終息しないまま、2020年度が終わります。大学を中心に多くの語学教師がオンライン授業に初めて取り組み、試行錯誤に明け暮れました。教室での対面型授業の大切さを痛感した1年ではありましたが、メディアとテクノロジーを用いた授業の可能性に気づかされたのも事実です。今回の「公開セミナー」では、英語教育や日本語教育の分野で、eラーニングやアクティヴ・ラーニングなどを主導的に実践してこられた先生方に「オンライン語学教育」の最先端をご報告いただきます。ICT活用の第一人者、藤本かおる先生の基調講演に始まり、多読の指導、問題解決型学習、異文化交流や地域貢献活動を取り入れた授業等が紹介されます。参加者それぞれの教育・研究活動の「総点検」の機会となれば幸いです。

外国語ラボラトリー所長 総合文化政策学部教授 宮澤 淳一
本企画コーディネータ 理工学部准教授 森 幸穂

日時

2021年 3月12日 金
13:00-17:00

場所

オンライン(ビデオ会議システム)

対象

小・中・高・大学教員、学生・院生、教育関係者

参加費無料

事前申し込み制
【定員100名】

基調講演

2020年の経験から見えてきたもの：よりよいオンライン授業を目指して

藤本 かおる (武蔵野大学グローバル学部准教授)

13:05-14:15

報告 ①

Introducing the Basics of *Xreading* for Extensive Reading

(*Xreading* を用いた多読学習の導入)

ランバッカー・スティーブン G. LAMBACHER, Stephen G. (青山学院大学社会情報学部教授)

14:20-14:50

報告 ②

課題解決型学習 (PBL) を通しての外国語教育：オンラインでの挑戦

藤井 清美 (金沢工業大学基礎教育部教授)

14:50-15:20

報告 ③

英語&日本語のプレゼンテーション：海外の大学との異文化交流授業

～Siao-cing Guo先生(台北大学)と野仲香代先生(ニューヨーク大学)のクラスとつなぐ～

勝又恵理子 (青山学院大学国際政治経済学部准教授)

森 幸穂 (青山学院大学理工学部准教授)

15:20-15:50

報告 ④

オンラインによる日本語活動の実践：津田塾大生の挑戦

古川 敦子 (津田塾大学学芸学部准教授)

渋谷 実希 (津田塾大学非常勤講師)

15:50-16:20

16:30-17:00

ディスカッションと質疑応答

上記報告者 6名

主催 青山学院大学附置外国語ラボラトリー

<https://www.agufl.aoyama.ac.jp/>
e-mail: fillweb@aoyamagakuin.jp
TEL:03-3409-7938 FAX:03-3409-1804

メールで申し込み後アクセス方法をお知らせいたします。(裏面参照)

情報の更新はウェブサイトでお知らせします

<https://www.agufl.aoyama.ac.jp/>

- ①当日の公開セミナーの様子は収録し、広報や開催報告などに掲載することがあります。ご了承のうえ、ご参加ください。
- ②取得した個人情報につきまして、本公開セミナーに関するご連絡、及び今後開催予定の公開セミナーのご案内に利用させていただきます。それ以外の目的で利用することはありません。
- ③セミナー中の録画はご遠慮ください。



基調講演 2020年の経験から見てきたもの：よりよいオンライン授業を目指して 藤本 かおる Kaoru Fujimoto

武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科准教授。
専門は日本語教育および教育工学(特に遠隔教育、eラーニング)。
2019年、国書刊行会より『教室へのICT活用入門』を出版。2020年の学びのオンライン化では、
YouTubeでの動画配信、Facebook(ICT相談バーかおる)を開設し、教師支援を行なっている。

報告 1 Introducing the Basics of *Xreading* for Extensive Reading

ランバッカー・スティーブン G. Lambacher, Stephen G.

青山学院大学社会情報学部教授。
Stephen Lambacher is a professor of English in the School of Social Informatics at Aoyama Gakuin University, Sagami-hara Campus. His research and teaching interests include CALL, pronunciation, and collaborative learning.

報告 2 課題解決型学習(PBL)を通しての外国語教育：オンラインでの挑戦

藤井 清美 Kiyomi Fujii

金沢工業大学基礎教育部英語教育課程教授。
オレゴン大学大学院東アジア言語文学部修士課程修了。
コロラドカレッジ文化コーディネーター、ローレンス大学日本語講師、アリゾナ大学日本語講師を経て、
2010年金沢工業大学に着任。2018年より現職。
SNSなどを用いた外国語学習、課題解決型学習(PBL)を通しての外国語学習を研究。

報告 3 英語&日本語のプレゼンテーション：海外の大学との異文化交流授業 ～Siao-cing Guo先生(台北大学)と野仲香代先生(ニューヨーク大学)のクラスとつなぐ～

勝又恵理子 Eriko Katsumata

青山学院大学国際政治経済学部国際コミュニケーション学科准教授。
オンラインにおける異文化交流授業、アクティブラーニング、短期留学の異文化適応力などを中心に研究。
Global Studies、Public Speakingなどの授業を担当。

森 幸穂 Sachiko Mori

青山学院大学理工学部准教授。
米インディアナ大学言語教育研究科博士課程修了。
東京大学大学院工学系研究科特任助教を経て、現職。
日本語教育および英語教育、理工系学生のための言語教育について研究。

報告 4 オンラインによる日本語活動の実践：津田塾大生の挑戦

古川 敦子 Atsuko Furukawa

津田塾大学学芸学部准教授(日本語教員養成課程担当)。
日本語教師養成、外国人児童生徒教育、教員研修等を専門とする。

渋谷 実希 Miki Shibuya

津田塾大学ほか非常勤講師。
一橋大学大学院言語社会研究科修士課程修了。
日本やタイにおいて日本語教育、日本語教員養成に携わる。

申込先

e-mail : fllweb@aoyamagakuin.jp

(エフ エル エル ダブルユー イー ビー @~)

件名「公開セミナー申し込み」とし、①氏名 ②所属をご記載ください

事前申し込み制

3月6日(土) 〆切